

2014年2月4日(火) 日芸学力試験解答例

<英語>

[I] (1) B (2) A (3) C (4) B (5) D (6) D (7) B (8) B (各2) 16点

[II] (9) D (10) C (11) B (12) C (13) D (14) C (15) B (16) A  
(各3) 24点

[III] (17) D (18) C (19) D (20) D (21) C (22) A (各4) 24点

[IV] (23) B (24) A (25) A (26) D (27) A (28) B (各3) 18点

[V] (29) C (30) A (31) B (32) D (33) B (34) C (各3) 18点

<英語講評>

昨年より一部の大きな問で若干難化の傾向。特に[I]、[II]はかなりの口語英語の知識が必要とされる。ただし[IV]、[V]は答えやすい問題なので全体としてみれば昨年と大差ないというところか。

<国語>

I 問一 1 問二 4 問三 2 問四 3 問五 4 (各5) 計25点

II 問一 5 問二 D 問三 3 問四 3 問五 3 問六 3 問七 2  
問一～問三(各3)9点、問四～問七(各4)16点 計25点

III 問一 1 (1点) 問二 4 (1点) 問三 a 1 b 3 c 3 (各2) 6点  
問四 3 (2点) 問五 2 (4点) 問六 5 (4点)  
問七 A 3 B 2 (各4) 8点 問八 3 (4点) 計30点

IV 問一 2 (4点) 問二 4 (2点) 問三 3 (2点) 問四 3 (2点) 計10点

V 問一ア 1 イ 3 ウ 3 (各1) 3点 問二 a 2 b 1 c 2 (各1) 3点  
問三 1 (2点) 問四 1 (2点) 計10点

<国語講評>

問題の構成は、例年通りで変更点はない。現代文のIは、日芸の問題としては文章は少し難しかったが、問題の難易度は「標準」レベル。IIの難易度は、文章・設問ともに「易しい」レベル。IIIの古文は、日芸としては「標準」レベルであろう。なお、この問題文は、早稲田ゼミナールの教材で用いたものであった。IVの文学史は一般的には「難」であるが、日芸の問題としては「標準」レベル。Vの漢字・語句問題も、日芸としては「標準」のレベルであろう。